「緩和ケアに関する医療者の知識・困難感・実践尺度」のデータを解釈するための

参考データについて

『「緩和ケアに関する医療者の知識・困難感・実践尺度」はいくつ以上だったら、知識がある、実践が出来ている、困難感が高いなどの基準はありますか？』という質問をよく受けます。残念ながら、そのような明確な基準はございません。しかし、何らかのデータと比較しないと、自分の病院などで取ったデータをどのように解釈していいのかわからず、お困りのことと思われます。

そこで、私どもはOPTIMプロジェクトで収集したデータにつきまして詳細な分布を提供することにしました。これらの尺度は、そもそもOPTIMの介入効果の検証のために収集しました。

OPTIM調査は地域の拠点病院、一般病院、PCU、在宅などから広くサンプリングされているので、参考データとして利用するにはちょうどよいと考えております。

OPTIM プロジェクトとは…Outreach Palliative care Trial of Integrated regional Model、厚生労働科学研究費補助金第3次対がん総合戦略研究事業「緩和ケア普及のための地域プロジェクト」の略で緩和ケアに関する介入を医療者へ地域の住民の方へ行い、その結果、どのような利益(医療者の知識はどうか？患者さん、またはご遺族からみた緩和ケアの質)があるのかを検証することを目的にして行われました。

調査対象は、鶴岡(山形県)、柏(千葉県)、浜松(静岡県)、長崎(長崎県)の4地域の病院、訪問看護ステーションに勤務する看護師で合計3008人でした。

表１、２対象者のうちわけを示します。

表３、４、５は緩和ケアに関する知識・緩和ケアに関する困難感・緩和ケアに関する実践のドメインを示します。表６、７、８は緩和ケアに関する知識・緩和ケアに関する困難感・緩和ケアに関する実践の分布を示します。

表 1

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 地域 | 参加施設 | 対象数(人) |  |
| 鶴岡 | 鶴岡市立荘内病院 | 163 | 323 |
| 鶴岡協立病院 | 93 |
| 宮原病院 | 30 |
| 斎藤胃腸医院/斎藤胃腸クリニック | 15 |
| 訪問看護ステーション | 22 |
| 柏 | 国立がんセンター東病院 | 108 | 725 |
| 東京慈恵会医科大学附属柏病院 | 287 |
| 柏市立柏病院 | 31 |
| 東葛病院・東葛病院付属診療所 | 110 |
| 平和台病院 | 18 |
| 流山中央病院 | 43 |
| おおたかの森病院 | 20 |
| 柏厚生総合病院 | 38 |
| 名戸ヶ谷病院 | 17 |
| 訪問看護ステーション | 53 |
| 浜松 | JA 静岡厚生連 遠州病院 | 132 | 1139 |
| 社会保険浜松病院 | 62 |
| 聖隷浜松病院 | 223 |
| 聖隷三方原病院 | 184 |
| 浜松医科大学医学部附属病院 | 160 |
| 県西部浜松医療センター | 117 |
| 浜松労災病院 | 104 |
| 松田病院 | 31 |
| 訪問看護ステーション | 126 |
| 長崎 | 長崎大学病院 | 292 | 821 |
| 日赤長崎原爆病院 | 166 |
| 長崎市立市民病院 | 113 |
| 聖フランシスコ病院 | 133 |
| 朝永病院 | 34 |
| 訪問看護ステーション | 83 |

計 3008 人

表 2

|  |  |
| --- | --- |
| 施設うちわけ | 対象数(人) |
| がん診療連携拠点病院 | 1650 |
| 一般病院(がん診療連携拠点病院以外) | 1074 |
| 訪問看護ステーション | 284 |

※PCU を含む









次のページに続く





次のページに続く





次のページに続く

